

『新編一宮町史』編さんだより

第3号

発行：令和5年(2023)6月30日

発行者：一宮町教育委員会 〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 2461

TEL:0475-42-1416 FAX:0475-42-1424 E-mail:syakai@town.ichinomiya.chiba.jp

一宮町史編さん委員会、発足

令和4年(2022)10月16日(日)、一宮町中央公民館和室にて、令和4年度第一回一宮町史編さん委員会を開催、新たな町史編さんに向けた委員会が発足しました。令和4年度より10年計画で、令和13年度中に「通史編」を刊行することを目指し、事業を開始しました。

第一回目の会議では主に次のことが決定しました。

- (1) 委員長に吉田正人委員、副委員長に中村政弘委員を選出
- (2) 新しい町史の名称は『新編一宮町史』
- (3) 『新編一宮町史』編さん基本方針を決定
- (4) 『新編一宮町史』刊行計画を決定

なお、(3)(4)については、今後の状況に応じて、柔軟に対応していくことを前提に決定されました。

一宮町史編さん委員会委員 (2023年3月末時点)

(任期：令和4年10月16日～令和6年3月31日)

	氏名	所属	分野
1	外山 信司	千葉市立郷土博物館総括主任研究員	中世
2	滝川 恒昭	敬愛大学経済学部特任教授	中世
3	菅根 幸裕	千葉経済大学経済学部教授	近世
4	龍澤 潤	深川東京モダン館管理事務所副所長 東洋大学非常勤講師	近世
5	宮間 純一	中央大学文学部教授	近代
6	中村 政弘	四街道市史編さん主任	近現代
7	吉田 正人	筑波大学大学院人間総合研究科教授	自然史
8	鈴木 庄一	睦沢町教育委員会	郷土史

※龍澤氏の任期は令和4年11月8日～



▲令和4年度第1回会議の様子

編さん基本方針は町HPで公開しております。

令和5年(2023)1月22日(日)には中央公民館大会議室にて、令和4年度第2回編さん委員会が開催され、今後の調査について協議を行いました。

現在、町内の資料調査を中心に事業を進めています。令和5年度以降は、町内は勿論、町外、県外にまで範囲を広げて調査を進めていく予定です。

令和4年度資料の寄贈

寄贈日	寄贈者	寄贈資料・点数
1 令和4年4月26日	個人(東浪見)	荷鞍 1点
2 令和4年7月13日	個人(東浪見)	東浪見村塩場帳(明治)、刊本ほか 88点
3 令和4年10月4日	個人(本給)	近世～近代資料(未整理)
4 令和4年10月25日	個人(一宮)	加納久朗書簡ほか近世～近代資料(未整理)
5 令和5年1月26日	個人(東京在住)	小池家譜(幕末) 1点
6 令和5年2月3日	12区	消防半鐘、祭礼幟旗(明治～昭和) 7点

加納久朗 没後60年

令和5年は千葉県誕生150年の年です。また一宮町ゆかりの郷土の偉人・加納久朗(1886～1963)の没後60年の節目の年でもあります。この節目の年に町ではシンポジウムや企画展示を開催する予定です。ご興味のある方はぜひご参加ください。

シンポジウム

「千葉県誕生150年 没後60年」

加納久朗の描いた世界

戦後の加納久朗の動向を中心に、その事績を見ていくシンポジウムを開催します。詳細は決まり次第、お知らせいたします。

◆とき 11月25日(土)

午後1時30分から午後4時30分

◆ところ 町中央公民館・大会議室

(長生郡一宮町一宮2460)

◆内容 専門家3名の講演及び

パネルディスカッション

◆定員 70人(事前申込制)

※入場無料、事前申込制(予定)

一宮町歴史資料展示室

令和5年度第2回企画展示

「加納久朗没後60年」(前期展示)

加納久朗と国際社会

◆とき 令和5年7月28日(金)

10月2日(月)

◆主な展示資料

・山本五十六年賀状

・重光葵書簡

ほか

一宮町歴史資料展示室

令和5年度第2回企画展示

「加納久朗没後60年」(後期展示)

戦後日本と加納久朗

◆とき 令和5年10月20日(金)

12月25日(月)

◆主な展示資料

・東京湾埋立関係資料 ほか

□会場…一宮町歴史資料展示室

(町中央公民館2階ロビー)

(長生郡一宮町一宮2460)

□開室時間

【日・月曜日・祝日】

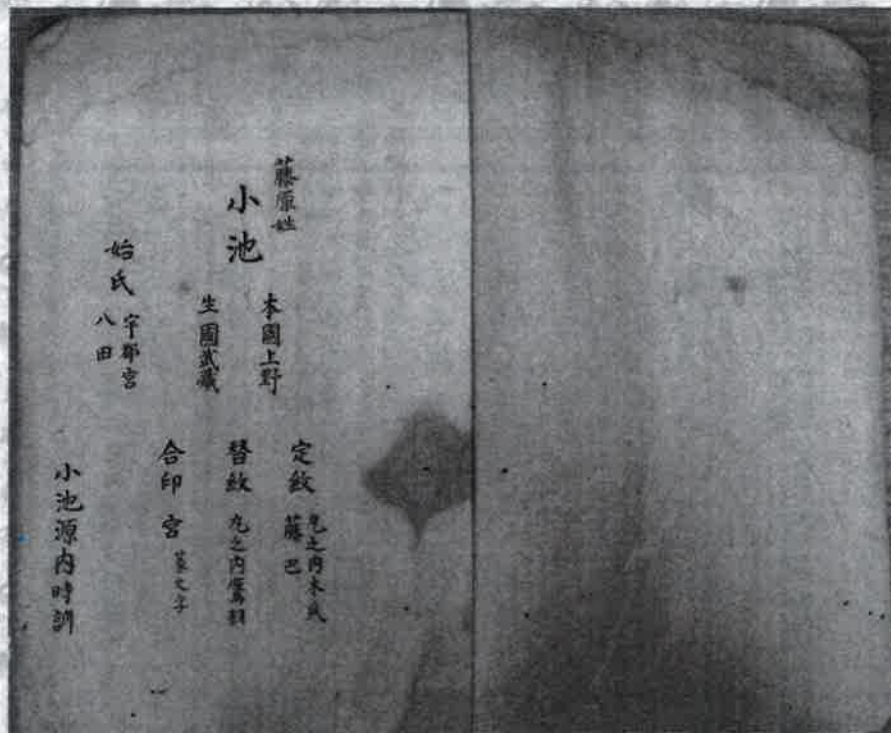
午前8時30分～午後5時

【火・土曜日】

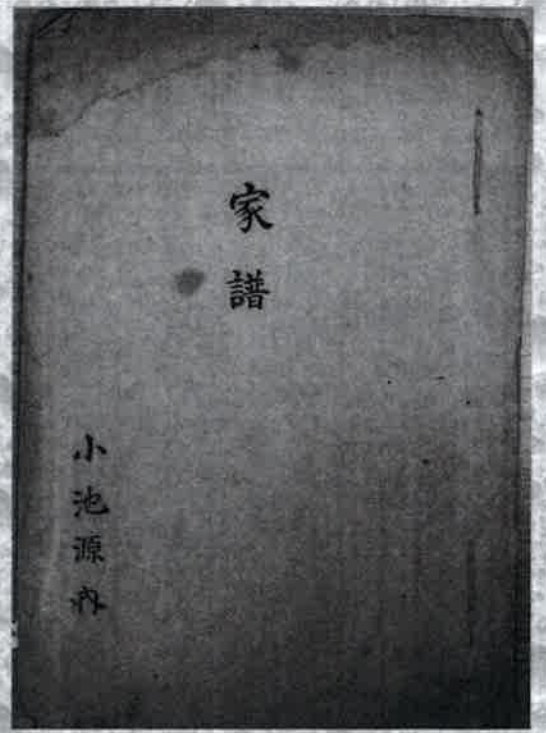
午前8時30分～午後9時

新収蔵資料紹介 ①

こ いけ け か ふ 小 池 家 家 譜 (天保3年(1832)作成)



▲ | ページ目



▲ 表紙

【史料の解説】

本史料は一宮藩の家臣・小池家の家譜です。令和5年1月に町教育委員会へ寄贈されました。

「家譜」とは一家の系譜を書き記した記録です。作成者は幕末の小池家当主・小池源内時訓で、文政11年(1828)に藩からの指示があり作成、天保3年に完成したものとされています。

江戸時代以降の小池家の歴代当主について経歴などが記されており、例えば文政9年(1826)正月には「同九年丙戌正月十一日 万石御封爵百年之御祝、上総一宮御陣屋御造宮御祝儀之刻、御料理・御酒・吸物頂戴之」とあり、加納家の一宮への陣屋移転の記載もあります。

一宮藩家臣については史料が少なく、藩の歴史を知る上で貴重な史料です。

令和4年度レファレンスサービス(資料の特別利用)

	利用日	申請者	種別	利用目的	資料名
1	1月18日~5月31日	東洋大学井上円了記念館	写真使用	2021年度博物館実習Ⅰ(Ⅰコース)実習成果展示「史料整理から展示を組み立てる~千葉県一宮本郷村文書を素材として~」での展示のため。	一宮本郷村絵図
2	5月14日~7月31日	いすみ市郷土資料館	貸出	企画展示「大筒と陣羽織 一資料で見る東上総の海防と小金原鹿狩」での展示のため。	一宮藩海防関係資料ほか
3	7月16日~1月8日	睦沢町立歴史民俗資料館	貸出	企画展示「源平争乱を生きた上総広常の時代と伝説」での展示のため。	上総介広常古城絵図ほか
4	11月3日~1月9日	いすみ市郷土資料館	貸出	企画展示「大漁絵馬と万祝」での展示のため。	上総国夷隅郡塩田浦之絵図
5	12月23日	個人	閲覧	富士山安永噴火の調査・研究のため。	萬覚書写の写本
6	1月17日	個人	写真使用	チラシ等への掲載のため。	加納久宜公写真
7	3月20日	いすみ市郷土資料館	資料掲載	『続・いすみ市域の古文書拾遺』への掲載のため。	御用留ほか

歴史資料を探しています

『新編 一宮町史』の編さんのため、古い資料や古文書、地図、掛け軸、昔の写真、絵葉書などの情報を集めています。

ご家庭で撮影された写真や風景写真も、当時の一宮を知ることができる貴重な資料です。歴史資料の保存、寄贈、寄託のご相談も随時受け付けております。

また、町の歴史や戦時中の体験、幼いころの記憶などお話しただけの方がおられましたら、ご連絡ください(コロナの感染状況に応じて対応させていただきます)。

ご提供いただいた資料、伺ったお話の内容の扱いには、十分配慮いたします。

皆様からの情報をお待ちしております。

お宅に残る古い資料、捨てる前にぜひご連絡ください。

編集後記

『新編 一宮町史』編さんだより」第3号をお送りします。

事務局の不幸で第2号の発行(令和4年3月)から1年弱が空いてしまいました。大変失礼しました。今後は年2回程度の発行を目指して努力してまいります。

昨年10月に編さん委員会が発足し、編さん事業が徐々に進み始めています。編さん事業の進捗状況は随時、「編さんだより」やHPで情報発信してまいります。

今年度は千葉県誕生150年の年です。当町でも記念事業として「加納久朗没後60年シンポジウム」を開催予定です。また、文化財講座や町史編さん講座、資料展示等普及啓発事業を積極的に展開していきます。これらの事業については詳細が決まり次第、お知らせいたします。

いよいよ始まった編さん事業。令和13年(2031)度の「通史編」完成に向けて、みなさまのご理解・ご協力のほどよろしく願います。

(記:編さん委員会事務局 江澤)